

2026 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 か ん な ん 丸
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 々 村 孝 志
(コード番号 7585 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 宮 永 一 彦
(TEL 048-815-6699)

特別損失の計上及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026 年 6 月期において特別損失を下記のとおり計上しましたので、お知らせいたします。
また、2026 年 2 月 13 日に公表いたしました「2026 年 6 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」と本日公表しました「2026 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失

減損損失

収益性の低下が認められる店舗に係る固定資産につき、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 77 百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 2026 年 6 月期通期連結業績予想と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想(A)	1,965	△70	△68	△73	△19 円 37 銭
今回実績(B)	1,882	△108	△107	△189	△49 円 64 銭
増 減 額 (B－A)	△82	△38	△39	△115	—
増 減 額 (%)	△4.2%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2025 年 6 月期)	1,871	△139	△136	△218	△57 円 33 銭

3. 差異が生じた理由

売上高につきましては、前期までに業態転換を実施した店舗等において、安定的な集客基盤の確立に時間を要し客数が伸び悩んだことに加え、一部店舗において近隣の大型集客施設の改修により、イベント関連需要が減少した影響等もあり、当初予想を 82 百万円下回る結果となりました。

営業利益および経常利益につきましても、メニュー変更による原価率の改善や人員配置の最適化など経費コントロールに注力したものの、売上高の未達に加え、想定以上に高止まりする原材料費や人件費などのコスト負担を吸収しきれず、営業利益は予想を下回りました。

また、当期純利益につきましては、上記による営業利益の減少に加え、収益性の低下が認められる店舗について将来の事業計画を見直した結果、減損損失 77 百万円を計上したことにより、当初予想を 115 百万円下回る結果となりました。

今後は、既存店の競争力強化やブランド価値の向上に注力するとともに、収益力の改善に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

以上